

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
5 8	飛騨高山高等学校 全日制

学校教育目標	1 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 2 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため主体的に協働できる生徒 互いの人格を尊重し、主張や意見を交流しながら、自らの役割と責任を果たせる生徒 郷土を愛し、地域の発展のための課題解決を目指し、地域や社会に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 ICTを積極活用した教科指導・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 生徒の個性や長所を伸ばすためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 高い志を持ち、その実現のために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 生徒会活動や部活動、地域活動などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や社会を築いていく意欲のある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 学習指導 ① 基礎学力の定着を図り、主体的・対話的な学習態度を育てます。 ② ICT機器を活用し、授業への興味・関心を高めます。	① 各学科の特性に合わせ、小テスト、朝読、タイピング等により基礎基本を反復することによって基礎学力の定着を図ります。 ② 授業公開と研究授業を通して教員同士が意見交流を行い「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を進め授業に反映します。 ③ 具体的な画像や動画を見せることで、学習内容をイメージしながら理解できるよう援助します。(MetaMoji、manabaの利用)		① 保護者、生徒による学校評価アンケートの結果 ② 生徒による授業評価の結果
2 生徒指導 ① 基本的な生活習慣の確立を根幹に、集団の一員としての自覚を持たせ、社会性と責任感の育成に努めます。 ② いじめや不登校等の未然防止と教育相談体制の充実を図ります。	① 遅刻生徒数の減少に向けた取り組みを生徒会と共に行います。 ② 自らすすんであいさつができ、爽やかな人間関係が構築できるよう、生徒会、MSリーダーズと連携して啓発活動を進めます。又、ボランティア活動については授業や部活動、MSリーダーズ等、生徒主体で積極的に企画・運営することができるよう働きかけます。 ③ 身だしなみや学校のルールについて生徒自らが主体的に考え、自己判断できる環境を整えます。 ④ 生徒や保護者の思いに寄り添い、学校としてチームで支援に当たります。		① 遅刻者統計数の結果 ② あいさつやボランティアに対して意識し、行動できたかの評価(学校評価アンケート) ③ 自らの生活について主体的に考えることができているのかの評価(学校評価アンケート) ④ 教員の傾聴姿勢に対する評価(学校評価アンケート)
3 進路指導 ① キャリアパスポートを活用し、自己実現に向けて主体的に取り組む態度を育てます。 ② 地域社会と緊密に連携したキャリア教育を進め、積極的に社会貢献できる人材を育てます。	① 個々の生徒の進路希望により添い、生徒が自己達成感をもって進路決定をできる丁寧な進路指導を実践します。 ② 看護・国公立大コースは、国公立大学合格率30%、その他の進路希望者は第1志望校への合格を目標とします。就職希望者は希望する業種の内定100%を達成します。 ③ 進路だより、進路ガイダンス、ホームルーム活動を通して、進学・就職共に必要とされる進路情報の積極的な提供に努めます。 ④ 国際社会で通用する広い視野と資質をもち、将来地元に貢献できる人材の育成に努めます。		① 行事後のアンケートにより、「何ができるようになったか」という振り返りを行うことによる、その達成感の評価 ② 数値目標の達成 ③ 生徒、保護者に対する外部評価 ④ キャリアパスポートの取組とその記述内容 ⑤ 実用英語検定、全商英語検定、農業技術検定の合格率
4 働き方改革の推進 ① 長時間勤務の解消を目指します。	① 勤務時間管理を徹底し、教員間の業務量の平準化を行います。		① 勤務時間管理簿の確認